

高岡地区事業所 景況レポート

2025年10～12月期

このレポートは高岡市内192社、射水市20社、その他4社の合計216社について景気の現況と見通しを調査したものです。
(回答181社、83.8%)

今期(2025年10～12月期)実績、来期(2026年1～3月期)見通し



今期(10～12月)は、卸売業、サービス業を中心に売上、収益ともに前期からの回復が見られたが、製造業、建設業、不動産業、小売業では前期を下回る結果となった。

来期(1～3月)については、設備関係業の一部等を除き、ほとんどの業種で売上、収益ともに今期比低下を見込んでおり、長引く物価上昇に対して価格転嫁が十分に進んでいない状況や、人件費等の増加に苦慮していることが調査結果から読み取れる。

◇概況

2025年11月の有効求人倍率は、全国平均1.18倍で、前月と同水準であった(富山県は1.44倍で前月比0.03ポイント低下)。

一方、12月の国内企業物価指数(速報値)は前月比で+0.1%、前年比では+2.4%と前月から上昇率は鈍化し、2025年の平均では前年比+3.2%となり過去最高を更新した。また、今期(10～11月)の消費活動指数(季節調整済・旅行収支調整済)は4期連続の前期比増加となる98.5(2015年=100)となり、前期(7～9月)比では+0.3%であった。月別では10月は98.3、11月は98.7であった(日本銀行HPより)。

当庫の調査においては、今期(10～12月)の景況感(D.I.)は、売上、収益ともに、前期を上回る結果となった。

来期(1～3月)については、売上、収益ともに大きく低下する見通しとしている。

今期(10～12月)の日経平均株価は、積極財政を掲げる高市政権の誕生やAI関連銘柄の株価上昇により10月下旬にかけて大幅上昇し史上初めて52,000円を突破したが、11月中旬にかけては、米国ハイテク株安を受けて48,000円台半ばまで下落した。12月以降は、50,000円を中心としたレンジで推移し、50,339円で引けた。

【日経平均株価】

(単位：円)

	最高	最低
10月	52,411	44,550
11月	51,497	48,537
12月	51,028	49,001

◇業況

今期(10～12月期)の全業種の業況(前年同期と比較した増減率の平均)は、売上額▲1.2%、売上数量▲1.5%、収益が▲1.3%となり、前期(7～9月期)との比較においては、売上額、売上数量で若干下回り、収益では若干上回った。

また、今期における全業種平均での売上額D.I.は、前期より5.7ポイント上昇の▲0.5、収益D.I.も10.9ポイント上昇の▲2.3となり、いずれも前期を上回る結果となった。

しかし、来期(1～3月期)見通しの全業種平均のD.I.では、売上額で今期より27.0ポイント低下し▲27.5を予想、収益でも今期より22.3ポイント低下の▲24.6を予想している。

景況天気図(売上額、数量、収益)

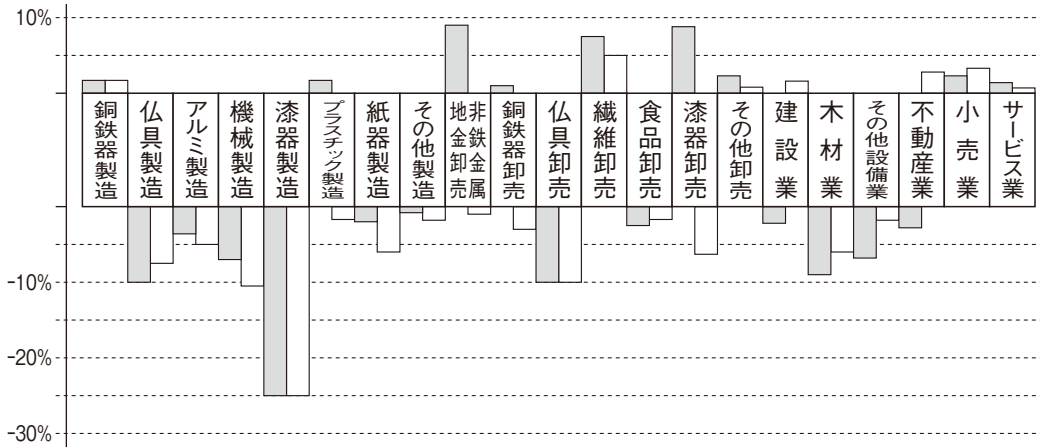
業種		10～12月期 実績	1～3月期 見通し
製 造 業	全 体	☾	☾
	全 般	☾	☾
	一般銅鉄器	☀	☀
	仏 具	☾	☾
	アル ミ	☾	☾
	機 械	☾	☾
	漆 器	●	●
	プラスチック	☀	☾
	紙 器	☾	☾
その他製造業	☾	☾	
卸 売 業	全 般	☀	☾
	非鉄金属地金	☀	☾
	銅 鉄 器	☀	☾
	仏 具	●	●
	織 維	☀	☀
	食 品	☾	☾
	漆 器	☀	☾
その他卸売業	☀	☀	
設 備 関 係 業	全 般	☾	☾
	建 設	☾	☀
	木 材	☾	☾
	その他設備業	☾	☾
不 動 産 業	☾	☀	
小 売 業	☀	☀	
サ ー ビ ス 業	☀	☀	

☀	5%以内	☾	-5%以内
☀	10%以内	☾	-10%以内
☀	20%以内	☾	-20%以内
☀	20%超	●	-20%超

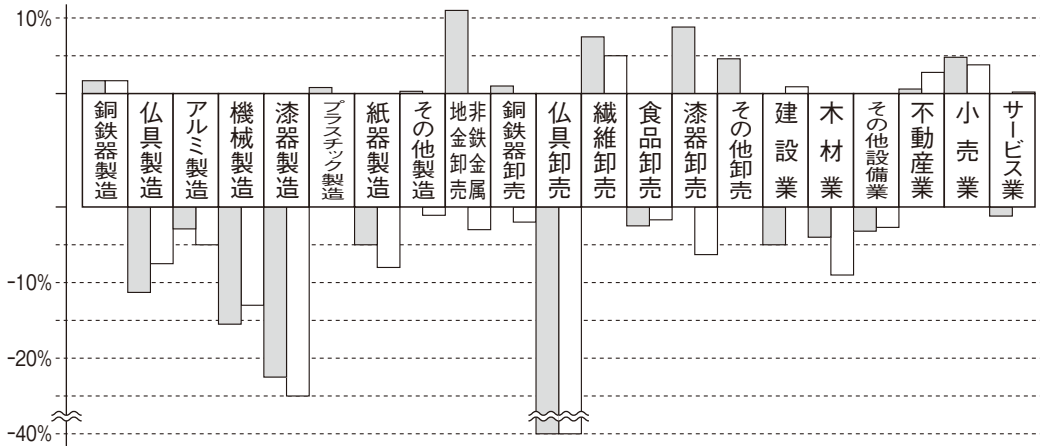
1. 全業種総合

売上額と収益の現状及び見通し(対前年同期比増加率)

〔売上額の現状 (2025年10月～12月) 〇〇〇〇〕
 〔売上額の見通し(2026年1月～3月) 〇〇〇〇〕



〔収益の現状 (2025年10月～12月) 〇〇〇〇〕
 〔収益の見通し(2026年1月～3月) 〇〇〇〇〕



売上額と収益の推移(対前期比)

〔売上額(受注額)〕

(%)

	2025年	2025年	2025年	2025年10月～12月		2026年1月
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	見通し	実績	～3月予想
増加	26.3	32.8	33.2	31.4	35.4	16.3
変わらず	25.8	26.4	27.4	39.5	28.7	39.9
減少	47.9	40.8	39.4	29.1	35.9	43.8
〔増加〕-〔減少〕	▲21.6	▲8.0	▲6.2	2.3	▲0.5	▲27.5

〔収 益〕

(%)

	2025年	2025年	2025年	2025年10月～12月		2026年1月
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	見通し	実績	～3月予想
増加	25.7	24.7	25.7	24.4	30.7	15.4
変わらず	25.8	37.1	35.4	43.6	36.3	44.6
減少	48.5	38.2	38.9	32.0	33.0	40.0
〔増加〕-〔減少〕	▲22.8	▲13.5	▲13.2	▲7.6	▲2.3	▲24.6

◇売上額D.I.（「増加」－「減少」の社数構成比）

今期（10～12月期）の全業種総合の売上額D.I.は、▲0.5となり、前期（7～9月期）に比べ5.7ポイント上昇。来期（1～3月期）についてのD.I.は、▲27.5となり、今期に比べ27.0ポイントの低下を予想している。

◇収益D.I.（「増加」－「減少」の社数構成比）

今期（10～12月期）の全業種総合の収益D.I.は、▲2.3となり、前期（7～9月期）に比べ10.9ポイントの上昇。

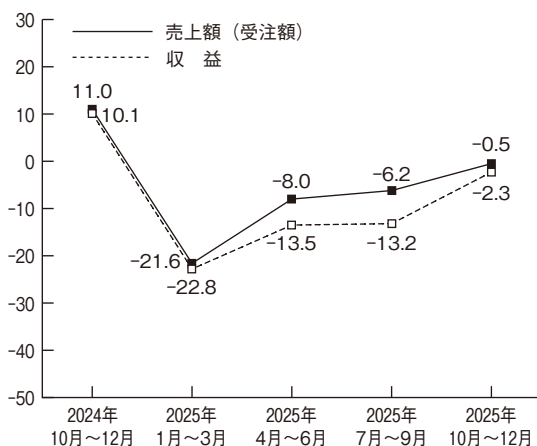
来期（1～3月期）についてのD.I.は、▲24.6となり、今期に比べ22.3ポイントの低下を予想している。

◇在庫数量D.I.（「増加」－「減少」の社数構成比）

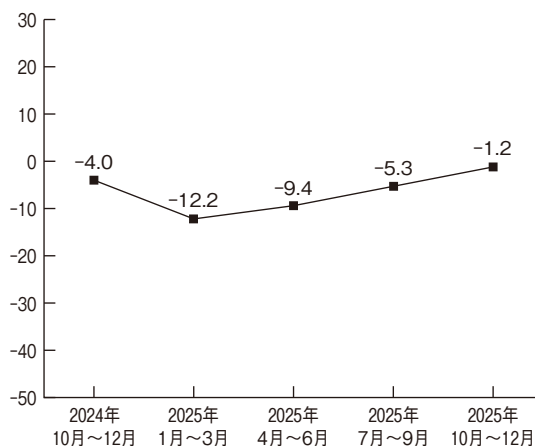
今期（10～12月期）の全業種総合の在庫数量D.I.は、▲1.2となり、前期（7～9月期）に比べ4.1ポイントの上昇となった。

来期（1～3月期）についてのD.I.は、▲8.2となり、今期に比べ7.0ポイントの低下を予想している。

〔売上額 収益D.I.推移表〕



〔在庫数量D.I.推移表〕



〔資金繰り〕

(%)

今期順位	項目	構成ウェイト	
		今期	前期
1	変わらず	73.0	70.9
2	やや苦しい	15.2	16.6
3	やや楽	8.4	9.1
4	楽	3.4	1.1
5	苦しい	0.0	2.3

〔経営上の問題点〕

(%)

今期順位	項目	構成ウェイト	
		今期	前期
1	売上・受注の停滞・減少	23.7	23.1
2	人手不足	11.9	12.9
3	原(材)料価格の上昇	10.3	12.1
4	人件費の増加	7.3	7.4
5	競争の激化	6.4	6.0

2. 製造業

◇概況

製造業全般における今期の前年同期（1年前）と比較した増減率の平均は、売上額▲3.5%、売上数量▲3.7%、収益▲4.7%となった。前期比では、売上額で1.1ポイントの減少、売上数量では0.9ポイントの減少、収益も0.4ポイントの減少となり、売上数量、収益は4期連続の減少となった。

製造業の内、銅鉄器、プラスチックが売上額、売上数量、収益ともに前年同期比および対前期比で増加した。

今期の製造業全般における売上額D.I.は、前期より6.0ポイント低下し▲20.6となった一方、収益D.I.は、10.2ポイント上昇し▲18.9となり、売上では前期での予想を大きく下回った。

来期見通しのD.I.については、売上額で今期より23.9ポイント低下の▲44.5、収益においても、今期より20.8ポイント低下の▲39.7と大幅な悪化を予想している。

経営上の問題点については、「売上・受注の停滞・減少」との回答が前期より3.5ポイント増加の33.7%と最も多く、次いで「原(材)料価格の上昇」が前期比0.1ポイント減少の10.4%であった。

また、「販売価格の伸び悩み」が前期比3.9ポイント増加と最も伸びた。

現 状	見 通 し

(銅鉄器)

銅鉄器製造における売上額D.I.は、前期に比べ100.1ポイント上昇し100.0、収益D.I.も、100.0ポイント上昇し66.7となった。

来期についてのD.I.は、売上額で133.3ポイント低下の▲33.3、収益は100.0ポイント低下の▲33.3と大幅な改善を予想している。

在庫水準は、適正が66.7%、やや少ないが33.3%であった。

(仏 具)

仏具製造における売上額D.I.は、前期に比べ75.0ポイント低下し▲75.0となり、収益D.I.も、50.0ポイント低下し▲75.0となった。

来期についてのD.I.は、売上額で25.0ポイント上昇の▲50.0、収益では今期と同じ▲75.0を予想している。

在庫水準は、適正が75.0%、やや少ないが25.0%であった。

(アルミ)

アルミ製造における売上額D.I.は、前期に比べ12.1ポイント低下し▲42.9、収益D.I.は前期に比べ11.6ポイント低下の▲50.1となり、いずれも前期での予想を大きく下回る結果となり、4期連続のマイナスとなった。

来期についてのD.I.は、売上額、収益ともに、今期と同じ水準を予想している。

在庫水準は、適正が76.9%、やや少ないが23.1%との回答であった。

(機 械)

機械製造における売上額D.I.は、前期に比べ18.9ポイント低下し▲30.0、収益D.I.は前期に比べ3.4ポイント上昇の▲30.0となり、いずれも3期連続のマイナスとなった。

来期についてのD.I.は、売上額で20.0ポイント低下の▲50.0、収益では今期と同じ▲30.0を予想している。

在庫水準は、適正が66.7%、やや多い、やや少ない、少ないがいずれも11.1%との回答であった。

(漆 器)

漆器製造におけるD.I.は、売上額、収益ともに前期に比べ50.0ポイント低下の▲100.0となった。

来期についてのD.I.は、売上額、収益ともに今期と同じ水準を予想している。

在庫水準は、適正が50.0%、少ないが50.0%との回答であった。

(プラスチック)

プラスチック製造における売上額D.I.は前期と同じ33.3、収益D.I.は33.2ポイント上昇の16.6となり、売上では6期連続のプラス、収益では3期ぶりのプラスとなった。

しかし、来期についてのD.I.は、売上額で100.0ポイント低下の▲66.7、収益で66.6ポイント低下の▲50.0を予想している。

在庫水準は、適正が83.3%、やや多いが16.7%であった。

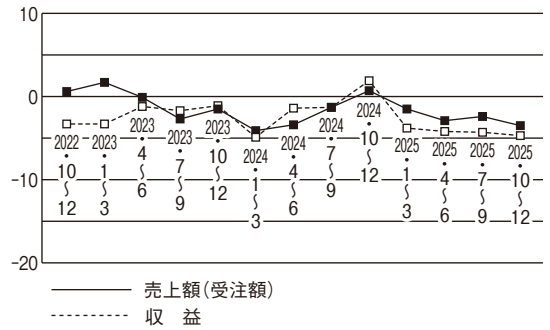
(紙 器)

紙器製造における売上額D.I.は、前期に比べ20.0ポイント低下の▲40.0、収益D.I.は前期と同じ▲20.0となり、売上額では前期での予想を下回り、収益では前期での予想どおりとなった。

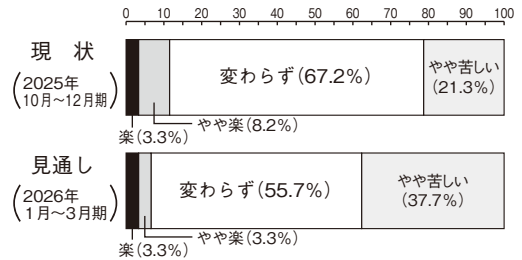
来期についてのD.I.については、売上額で40.0ポイント低下の▲80.0、収益でも40.0ポイント低下の▲60.0を予想している。

在庫水準は、適性が75.0%、やや少ないが25.0%であった。

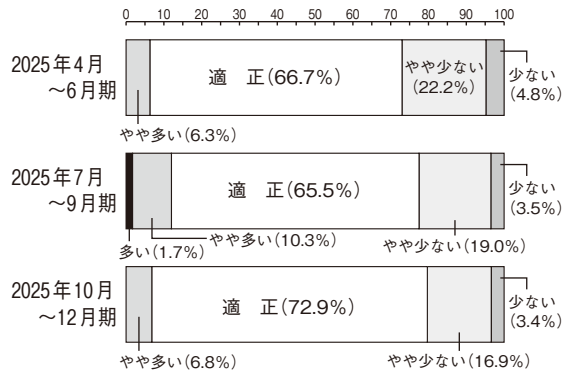
[売上額、収益の動き(対前年同期比)]



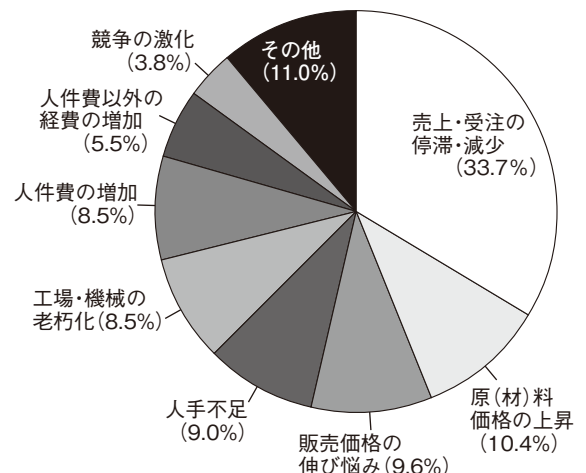
[資金繰りの現状と見通し]





[手持ち在庫の動き]



[経営上の問題点]



3. 卸売業

現 状	見 通 し
	

◇概 況

卸売業全般における今期の前年同期(1年前)と比較した増減率の平均は、売上額2.9%、売上数量1.3%、収益3.2%と2期連続ですべてプラスであった。前期比では、売上額で4.3ポイント、売上数量で3.8ポイント、収益で4.9ポイントといずれも増加した。

卸売業の内、非鉄金属、銅鉄器、繊維、漆器、その他卸が売上額、売上数量、収益ともに前年同期比で増加し、対前期比では非鉄金属、銅鉄器、その他卸が売上額、売上数量、収益ともに増加した。

今期の売上額D.I.は、前期に比べ22.1ポイント上昇し13.9、収益D.I.も前期比8.2ポイント上昇し8.3となり、売上額では4期(1年)ぶりのプラスとなった。

しかし、来期についてのD.I.は、売上額で56.8ポイント低下の▲42.9、収益でも49.5ポイント低下の▲41.2を予想している。

経営上の問題点については、「売上・受注の停滞・減少」が22.6%で最上位であり、次いで「仕入先からの値上げ要請」「原(材)料価格の上昇」がいずれも10.4%であった。

(非鉄金属地金)

非鉄金属地金卸における売上額D.I.は、前期に比べ20.0ポイント上昇の60.0の一方、収益D.I.は20.0ポイント低下し0.0となった。

来期についてのD.I.は、売上額、収益ともに▲60.0と今期比大幅な低下を予想している。

経営上の問題点については、「原(材)料価格の上昇」と「人件費以外の経費の増加」がいずれも20.0%で最上位であった。

(銅鉄器)

銅鉄器卸における売上額D.I.は、前期比60.0ポイント上昇し20.0、収益D.I.も前期比100.0ポイント上昇し40.0であった。

来期についてのD.I.は、売上額では今期比20.0ポイント低下の0.0、収益でも今期比100.0ポイント低下の▲60.0を予想している。

経営上の問題点では、「原(材)料価格の上昇」が20.0%で最上位であった。

(仏 具)

仏具卸におけるD.I.は、売上額、収益ともに前期比50.0ポイント低下の0.0となった。

来期についてのD.I.は、売上額、収益ともに今期と同じ0.0を予想している。

経営上の問題点については、「売上・受注の停滞・減少」が50.0%と前期に続き最上位であった。

(織 維)

繊維卸におけるD.I.は、売上額で2期連続の0.0となり、収益では6期連続の0.0となった。

来期についてのD.I.は、売上額で今期と同じ0.0を予想の一方、収益では今期比100.0ポイント上昇の100.0を予想している。

経営上の問題点については、前期同様、「売上・受注の停滞・減少」が50.0%で最上位であった。

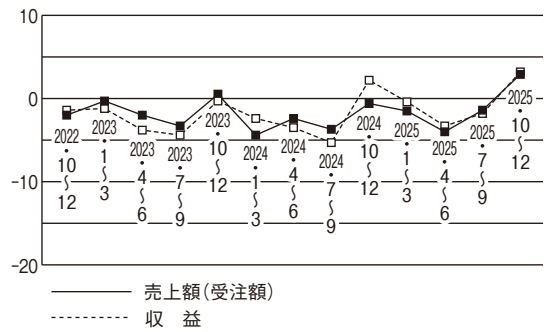
(食 品)

食品卸における売上額D.I.は、前期に比べ13.4ポイント低下し▲33.4、収益D.I.は前期比53.3ポイント低下し▲33.3であった。

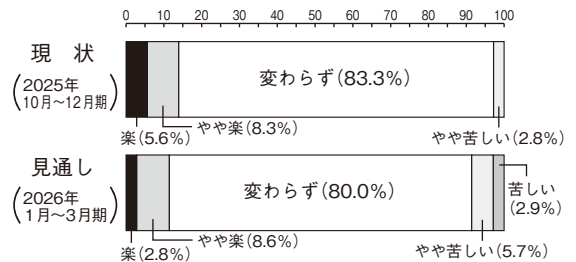
来期についてのD.I.は、売上額で今期比49.9ポイント低下の▲83.3、収益では今期比16.7ポイント低下の▲50.0を予想している。

経営上の問題点については、「原(材)料の入手難」が22.2%で最上位であった。

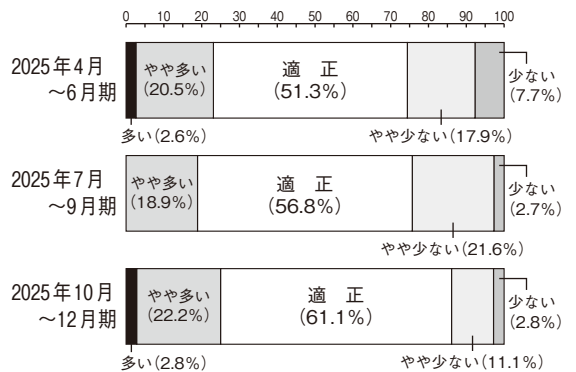
〔売上額、収益の動き(対前年同期比)〕



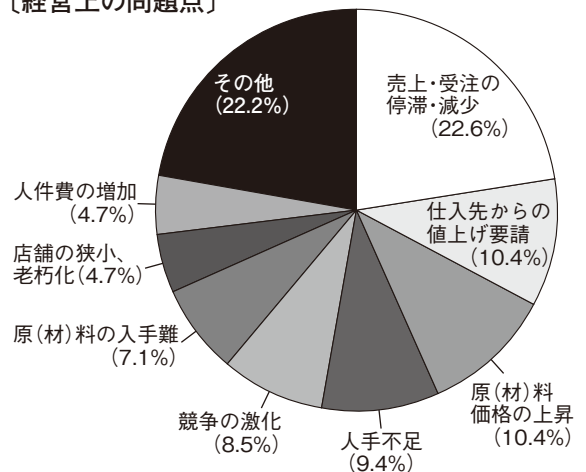
〔資金繰りの現状と見通し〕



〔手持ち在庫の動き〕



〔経営上の問題点〕



4. 設備関係業

現 状	見 通 し

◇概況

設備関係業全般における今期の前年同期(1年前)と比較した増減率の平均は、売上額▲4.8%、売上数量▲2.0%、収益▲4.2%となった。前期比では、売上額で3.2ポイント、売上数量で2.7ポイント、収益では2.1ポイントといずれも減少となった。

設備関係業については、前年同期比で増加した業種は無く、対前期比では木材のみが売上額、売上数量、収益のすべてで増加した。

来期は、売上額で▲0.8%、売上数量で▲1.1%、収益で▲1.9%とマイナスではあるが、いずれも今期比増加を予想している。

今期の売上額D.I.は、前期に比べ22.8ポイント上昇し▲3.0、収益D.I.は19.5ポイント上昇し▲3.1となり、いずれも4期連続のマイナスとなった。

来期についてのD.I.は、売上額で6.2ポイント上昇し3.2、収益でも12.6ポイント上昇の9.5を予想している。

経営上の問題点については、「人手不足」が24.2%で最上位となり、次いで「売上・受注の停滞・減少」が11.8%であった。

(建設)

建設業における売上額D.I.は、前期に比べ6.3ポイント低下し▲6.4、収益D.I.は前期に比べ6.2ポイント上昇し▲6.4となり、いずれも3期連続のマイナスとなった。

来期についてのD.I.は、売上額で今期比6.3ポイント上昇の▲0.1、収益では今期比0.1ポイント上昇の▲6.3を予想している。

経営上の問題点については、「人手不足」が27.6%(前期比+2.9%)と前期に続き最上位となり、次いで「原(材)料価格の上昇」が14.9%(前期比▲5.5%)であった。

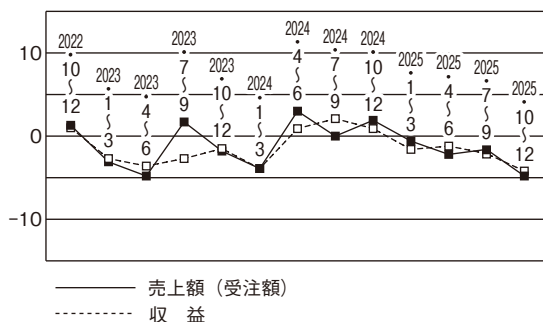
(木材)

木材業における売上額D.I.は、前期に比べ26.7ポイント上昇し▲40.0となり、収益D.I.も前期に比べ10.0ポイント上昇し▲40.0となった。

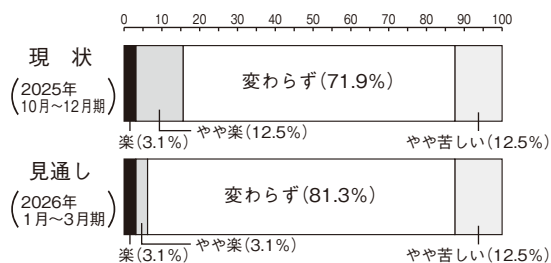
来期についてのD.I.は、売上額で20.0ポイント低下の▲60.0、収益も20.0ポイント上昇の▲20.0を予想している。

経営上の問題点については、「売上・受注の停滞・減少」が40.0%で最上位、次いで「販売価格の伸び悩み」が20.0%であった。

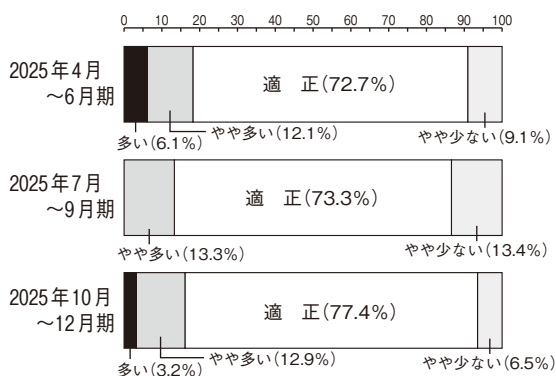
〔売上額、収益の動き(対前年同期比)〕



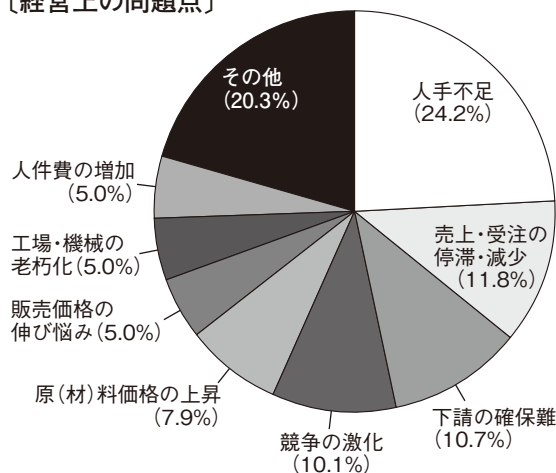
〔資金繰りの現状と見通し〕



〔手持ち在庫の動き〕



〔経営上の問題点〕



[参考]

高岡市、富山市、射水市、砺波市に於ける新設住宅着工戸数

期間	高岡市		富山市		射水市		砺波市	
	総戸数	内、木造	総戸数	内、木造	総戸数	内、木造	総戸数	内、木造
2024年9月～11月	239	222	975	631	130	113	98	72
2024年12月 ～2025年2月	83	79	626	369	121	120	72	55
2025年3月～5月	166	164	691	562	154	133	73	65
2025年6月～8月	146	129	540	479	106	96	47	46
2025年9月～11月	192	179	557	479	93	83	58	29

(富山県庁ホームページより引用)



高岡市に於ける利用関係別新設住宅着工戸数(2025年9月～11月)

()内は前年同期比

	持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	計
一戸建	106 (▲2)	1 (▲1)	0 (▲5)	23 (+3)	130 (▲5)
長屋	0 (±0)	32 (▲44)	0 (±0)	0 (±0)	32 (▲44)
共同住宅	0 (±0)	30 (+2)	0 (±0)	0 (±0)	30 (+2)
計	106 (▲2)	63 (▲43)	0 (▲5)	23 (+3)	192 (▲47)

(富山県庁ホームページより引用)

5. 不動産業

現 状	見 通 し
	

◇概況

不動産業における今期の前年同期(1年前)と比較した増減率の平均は、売上額▲2.8%、売上数量▲2.2%といずれも8期(2年)ぶりのマイナスとなり、収益では7期連続のプラスとなる0.6%となった。

来期は、売上額で5.5ポイント増加の2.8%、売上数量も5.0ポイント増加の2.8%、収益も2.2ポイント増加の2.8%を予想している。

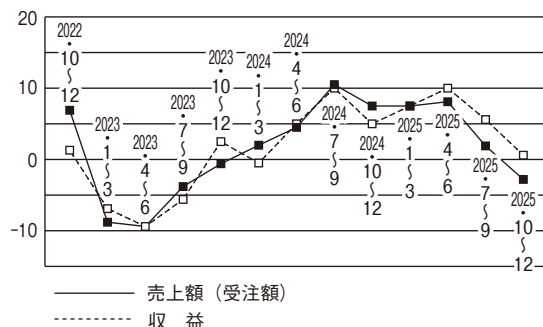
今期の売上額D.I.は、前期に比べ59.8ポイント低下し▲22.3となり、収益D.I.も前期比58.4ポイント低下の▲33.4であった。

来期についてのD.I.は、売上額、収益ともに今期比22.2ポイント低下を予想している。

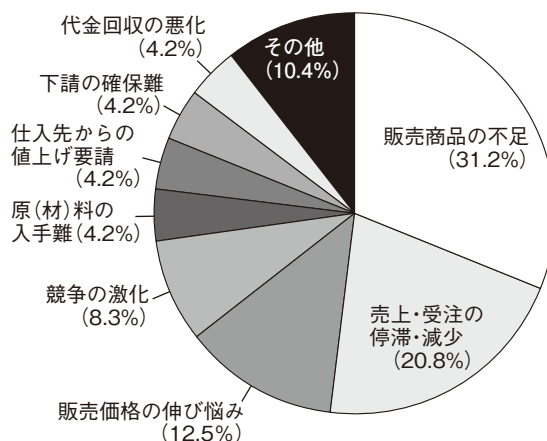
在庫水準については、やや少ないが44.5%、適正、やや多いが22.2%、少ないが11.1%との回答であった。

経営上の問題点については、前期2位であった「販売商品の不足」が31.2%(前期比+17.9%)で最上位であった。

[売上額、収益の動き(対前年同期比)]



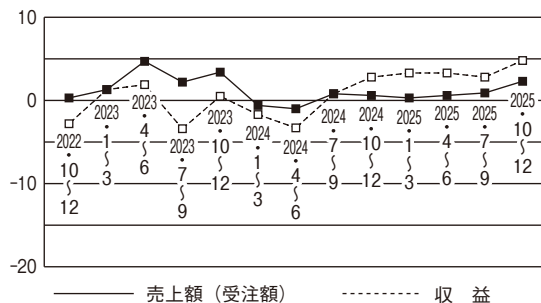
[経営上の問題点]



6. 小売業

現 状	見 通 し

〔売上額、収益の動き〕
(対前年同期比)



◇概況

小売業における今期の前年同期(1年前)と比較した増減率の平均は、売上額で2.3%、売上数量▲0.3%、収益は4.8%となった。前期比では、売上数量で2.4ポイントの減少となったが、売上額で1.3ポイント、収益では1.9ポイントの増加となった。

来期については、売上額で1.0ポイント増加の3.3%、売上数量で1.3ポイント増加の1.0%、収益では1.0ポイント減少の3.8%を予想している。

今期の売上額D.I.は、前期比23.6ポイント低下の▲5.0、収益D.I.では前期比2.5ポイント上昇の15.0となった。

来期についてのD.I.は、売上額で今期比5.0ポイント低下の▲10.0、収益でも今期比15.0ポイント低下の0.0を予想している。

在庫水準は、適正が60.0%、やや多いが20.0%、やや少ないが15.0%、多いが5.0%であった。

経営上の問題点としては、「売上・受注の停滞・減少」が25.6%で最上位となり、次いで「原(材)料価格の上昇」が9.4%であった。

(自動車)

県内の2025年10~12月(3カ月)の新車登録台数は、普通乗用・普通貨物車が伸びなかった影響等により、前期(7~9月)比で98.7%と2期ぶりの減少となったが、前年同期間の実績比では102.3%と回復の気配も感じられる結果となった。

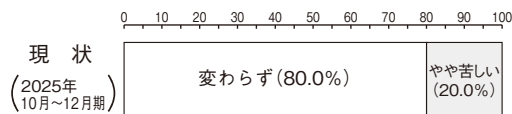
そのうち、普通・小型乗用車については、10~12月にかけて前月比減少が続いた影響により前期実績を下回り(前期比97.2%)、前年同期間の実績比でも99.0%と下回った。

(軽四自動車)

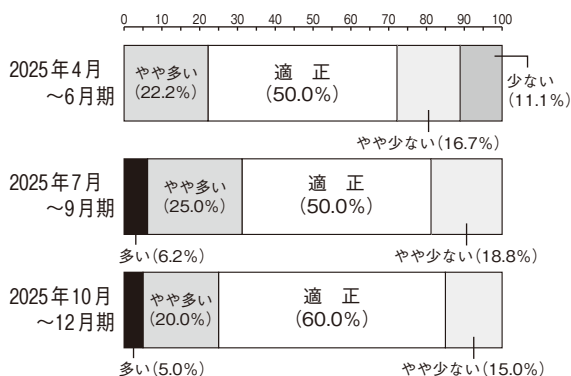
県内の2025年10~12月(3カ月)の軽四自動車の新車登録台数についても、前期実績を大きく下回り(前期比87.0%)、前年同期間での実績比でも95.9%と下回った。

中古車(乗用)については、前期比では93.3%と落込んだが、前年同期間の実績比では112.7%と3期連続で上回った。

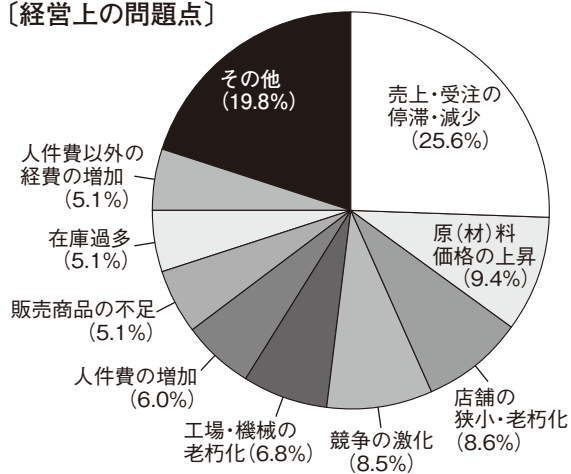
〔資金繰りの現状と見通し〕



〔手持ち在庫の動き〕



〔経営上の問題点〕



〔参 考〕

〔自動車：新車登録台数〕

期間	項目	普通乗用	小型乗用
2025年1月~3月		4,011	2,270
4月~6月		3,276	1,952
7月~9月		3,483	2,049
10月~12月		3,281	2,095

(富山県自動車販売店協会 調べ)

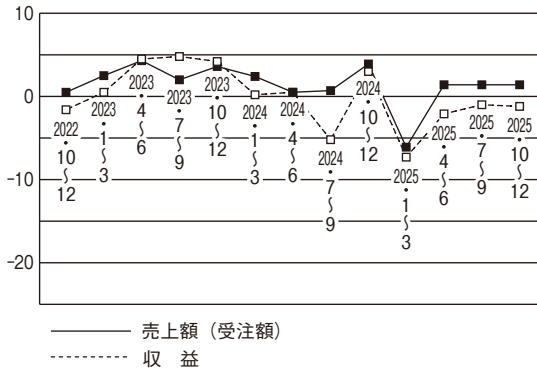
〔軽四自動車：新規検査状況〕

期間	項目	新 車	中 古 車
2025年1月~3月		3,927	1,314
4月~6月		3,473	1,855
7月~9月		3,850	1,555
10月~12月		3,350	1,451

(富山県軽自動車検査協会 調べ)

7. サービス業

〔売上額、収益の動き〕
(対前年同期比)



◇概況

サービス業における今期の前年同期(1年前)と比較した増減率の平均は、売上額1.4%、売上数量0.0%、収益▲1.2%となり、収益では4期連続のマイナスとなった。

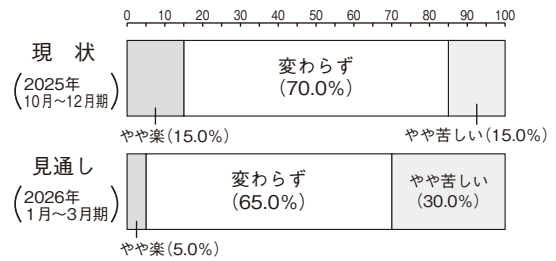
来期については、売上額で0.7%、売上数量0.7%、収益0.2%を予想し、収益では5期ぶりのプラスを予想している。

今期の売上額D.I.は、前期より38.1ポイントと大きく上昇し52.3、収益D.I.も41.2ポイント上昇し31.6となり、いずれもほぼ前期での予想どおりの結果となった。

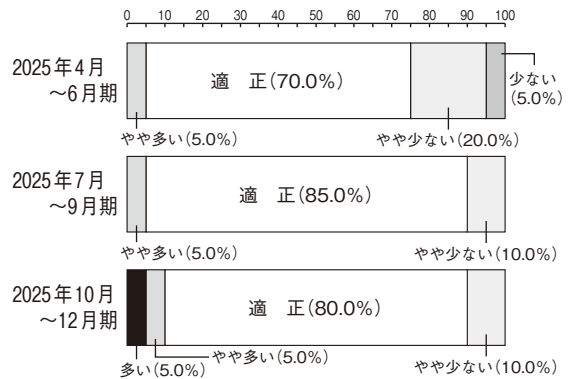
しかし、来期の売上額D.I.は、今期より57.7ポイント低下の▲5.4、収益D.I.も43.5ポイント低下の▲11.9を予想している。

経営上の問題点としては、「人手不足」が前期比1.2%減少の19.8%となり、次いで「原(材)料価格の上昇」が前期比3.6%減少し17.4%であった。また、「人件費の増加」が前期比6.4ポイント増加と最も伸びた。

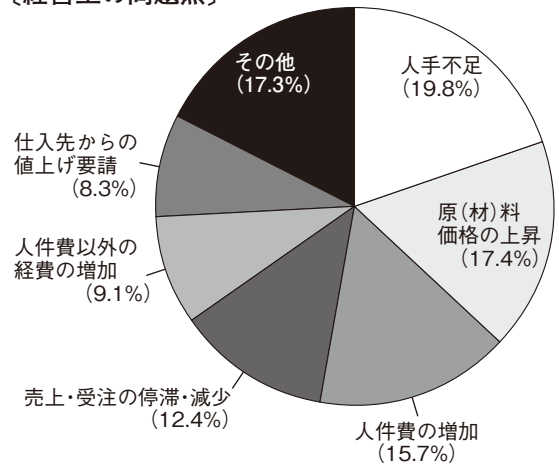
〔資金繰りの現状と見通し〕



〔手持ち在庫の動き〕



〔経営上の問題点〕



〔参考〕

〔高速自動車道利用状況〕

(単位：千台)

IC名	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
高岡北 (能越)	2024年	334	408	435	447	466	434	460	477	445	458	461	433
	2025年	408	343	462	440	442	416	460	490	460	413	466	446
小矢部東 (能越)	2024年	158	179	200	210	215	184	198	227	198	218	215	190
	2025年	175	149	206	202	223	194	211	239	199	210	215	194
小杉 (北陸)	2024年	230	254	291	304	310	288	301	327	295	319	306	291
	2025年	256	228	305	303	323	294	321	334	303	327	312	

各インター通過(乗降)台数の合計

能越道(高岡北IC~高岡IC間)：国土交通省富山河川国道事務所調べ

能越道(小矢部東)：能越自動車管理事務所調べ

北陸道(小杉)：中日本高速道路㈱金沢支社調べ

8. 設備投資動向

設備投資の概要

今期において1,000万円以上の設備投資を実施したと回答した企業は14社となり、前回調査時より2社減少した。内訳では、社屋、工場、店舗等の新・増設や改修・保守等が6社、生産等機械設備に関わるものが4社、システム関連投資が1社、トラック等車両の購入が1社、その他2社であった。

今後3ヶ月の間に1,000万円以上の設備投資を予定している企業は19社で、前回調査時において実施予定と回答した企業数から2社増加した。

今後の設備投資の目的

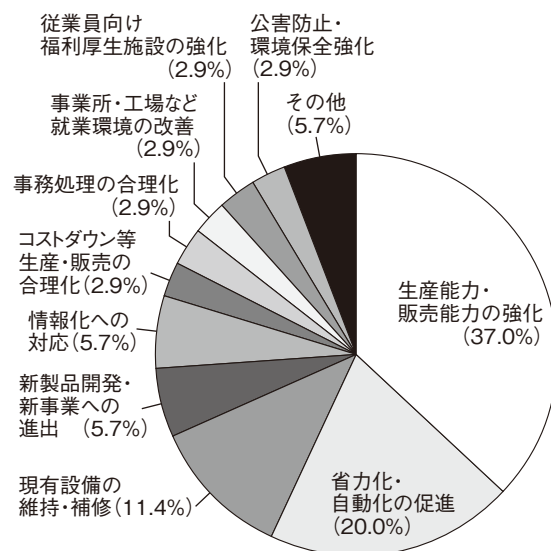
今後、設備投資を予定している企業の目的は

- ① 生産能力・販売能力の強化…………… (37.0%)
- ② 省力化・自動化の促進…………… (20.0%)
- ③ 現有設備の維持・補修…………… (11.4%)
- ④ 新製品開発・新事業への進出…………… (5.7%)
- ④ 情報化への対応…………… (5.7%)
- ⑤ コストダウン等生産・販売の合理化…………… (2.9%)
- ⑤ 事務処理の合理化…………… (2.9%)
- ⑤ 事業所・工場など就業環境の改善…………… (2.9%)
- ⑤ 従業員向け福利厚生施設の強化…………… (2.9%)
- ⑤ 公害防止・環境保全強化…………… (2.9%)
- ⑥ その他…………… (5.7%)

今回の調査では、前回2位の『生産能力・販売能力の強化』が前回より18.0ポイントと大幅に上昇し最上位となり、『省力化・自動化の促進』も前回より3.3ポイント上昇し2位となった。

また、『その他』では、「外注の内製化への対応」や「蛍光灯の2027年問題への対応(LED化)」といった意見があった。

〔今後の設備投資の目的〕



設備投資の判断基準

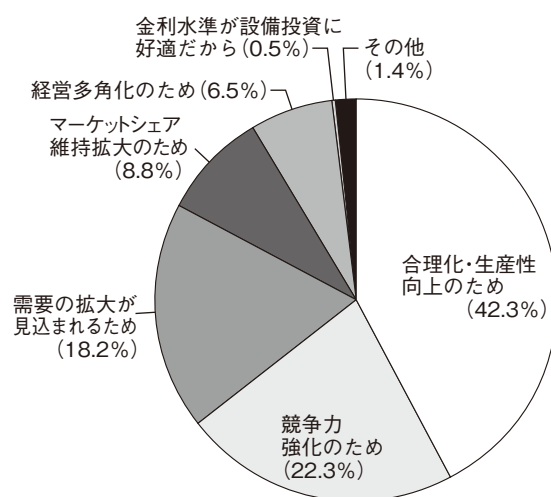
今後の設備投資に当たっての判断基準について

- ① 合理化・生産性向上のため…………… (42.3%)
- ② 競争力強化のため…………… (22.3%)
- ③ 需要の拡大が見込まれるため…………… (18.2%)
- ④ マーケットシェア維持拡大のため…………… (8.8%)
- ⑤ 経営多角化のため…………… (6.5%)
- ⑥ 金利水準が設備投資に好適だから…………… (0.5%)
- ⑦ その他…………… (1.4%)

今回もトップ項目であった『合理化・生産性向上のため』については、小売業を除くすべての業種で判断基準のトップ項目となった。

2位の『競争力強化のため』については、小売業でトップとなったほか、その他不動産業を除く業種でも2番目に多い項目となった。

〔設備投資の判断基準〕



紙の手形・小切手 利用廃止へ



**2027年3月末までに
紙の手形・小切手の交換が廃止されます。**

政府方針^(※)をもとに、産業界・金融界が連携して手形・小切手の利用廃止に向けた取組みを行っています。今すぐ、でんさい等の電子記録債権やインターネットバンキングによる振込等への切替えをご検討ください。

(※) [約束手形・小切手の利用廃止に向けたフォローアップを行う] (「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 2023改訂版(内閣官房)」より)



〒933-8611 高岡市守山町68番地

TEL 0766-23-1222(代表)

<https://www.shinkin.co.jp/takaoka/>

